

2026. 2. 11 Wed

at Tokyo Metropolitan Theatre
Concert Hall

主催：一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ

助成：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション



<https://www.tkwo.jp/>

つくる。つつむ。つなぐ。
東京佼成ウインドオーケストラ



指揮：大井剛史(常任指揮者)

司会：中橋愛生(楽芸員)

演奏：東京佼成ウインドオーケストラ

PROGRAM | プログラム

▶ **アルヴァマー序曲** / J.バーンズ [約8分]

▶ **アルメニアン・ダンス パートI** / A.リード [約11分半]

▶ **ディズニー・ファンティリュージョン!** / 星出尚志 編 [約8分]

▶ **宝島** / 和泉宏隆 / 真島俊夫 編 [約5分]

休憩 [20分]

▶ **アルセナール** / J.ヴァンデルロースト [約4分]

▶ **たなばた** / 酒井格 [約9分]

▶ **宇宙の音楽** / P.スパーク [約19分]

- ・ t=0
- ・ ビッグバン
- ・ 孤独な惑星
- ・ 小惑星帯と流星群
- ・ 宇宙の音楽
- ・ ハルモニア
- ・ 未知

❗ 注意

- ・ 本コンサートは、会場の観客の皆様を撮影する場合がありますこと、および収録された映像がインターネット、DVDなど各種媒体で公開・販売されることを予めご了承ください。
- ・ ホール内での飲食、許可のないビデオ・写真撮影、および携帯電話・スマートフォンでの撮影はご遠慮ください。
- ・ 携帯電話・時計のアラームなど音の出る電子機器は電源をお切りください。
- ・ 演奏中のプログラムをめくる音、お客様同士での会話など音を発する行為は他のお客様のご迷惑となることがありますのでご配慮ください。

本公演に関するアンケートへ
ご協力ください。



PROFILE | プロフィール

指揮 **大井剛史** (常任指揮者)

Ooi Takeshi, Principal Conductor



東京佼成ウインドオーケストラ常任指揮者。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。1996年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメッティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。2007～2009年チェコ・フィルハーモニー管弦楽団で研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。在学中より東京二期会、新国立劇場などのオペラ公演で副指揮者をつとめ、2002年「ペレアスとメリザンド」(ドビュッシー)を指揮してデビュー。その後はオペラのほかバレエ、ミュージカル、日本舞踊との共演など多くの舞台公演を指揮。仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者(2000～2001)、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉(現・千葉交響楽団)常任指揮者(2009～2016)、山形交響楽団指揮者(2009～2013)、同正指揮者(2013～2017)、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者(2014～2024)を歴任。このほか全国の主要オーケストラを指揮している。レパートリーは極めて広く、オーソドックスな管弦楽／吹奏楽の作品を中心として、現代音楽の初演、ゲーム音楽、映画音楽、ポップスなどありとあらゆる音楽を手がける。トーク付きのコンサート、また子供のためのコンサートなどを通じて、より多くの方々に音楽に親しんでいただくことに情熱を注いでいる。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師(吹奏楽)、尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

司会 **中橋愛生** (楽芸員)

Nakahashi Yoshio, Music Curator



1978年生。東京音楽大学作曲指揮専攻および同大学院を首席で修了。これまでに日本音楽コンクール作曲部門(管弦楽作品)第三位、日本管打・吹奏楽学会アカデミー賞(作編曲部門)、日本吹奏楽指導者協会「下谷奨励賞」を受賞。作品は東京佼成ウインドオーケストラ、シエナ・ウインド・オーケストラ、陸上自衛隊中央音楽隊などによって初演されている。これまでに作曲を吉田峰明、池辺晋一郎、湯浅譲二、西村朗の各氏に、指揮法を汐澤安彦氏に師事。現在、東京音楽大学教授、国立音楽大学・日本大学芸術学部各講師、日本バンドクリニック委員会顧問、日本管打・吹奏楽学会理事、日本音楽芸術学会正会員。2008年よりNHK-FM「吹奏楽のひびき」パーソナリティ。

PROGRAM NOTES

曲目解説：中橋愛生 (TKWO楽芸員)

※本文中の「東京佼成ウインドオーケストラ」は「TKWO」と略しました。

<オープナー>

ジェイムズ・バーンズ 作曲 アルヴァマー序曲

最近ではゲーム「ポケットモンスター」のCM音楽にも使われるなど、吹奏楽の世界から飛び出して親しまれているこの曲は、オープニングを飾るのにふさわしい一曲です。バーンズ(1949-)は『交響曲第3番』といった大規模な曲でも知られているアメリカの作曲家ですが、その人気の火付け役となったのは1981年に作られたこの曲でしょう。バーンズの地元カンザス州で行われた音楽祭で中学校選抜バンドが演奏するために作られたので、技術的にもそれほど難しくなく、親しみやすくさわやかな曲調が魅力です。

この曲のタイトル、バーンズが普段からよく通っていた「アルヴァマー・カントリー・クラブ」というゴルフ場の名前から採られている、というのは有名な話(つまり、特別な意味はなく、割と適当につけられた)。しばしばこのゴルフ場が「アルヴァさんとマリーさんというゴルフ場を経営する夫婦の名前から名付けられた」と紹介されることがありますが、これは実は厳密には違って「ゴルフ場を作ったリゾート会社の名前がアルヴァマーで、その会社名は創業者が両親であるアルヴァさんとマルガレッタさんから付けたもの」が正しかったりします。そして、そのゴルフ場は10年ほど前に経営破綻して売却され、現在は「ジェイホーク・クラブ」という名前になっている、というのはちょっと切ない話です。ちなみに、バーンズには『イーグル・ベンド序曲』という曲もあるのですが、この曲のタイトルもすぐ近くにある「イーグル・ベンド・ゴルフ・クラブ」というゴルフ場から採られていて、こちらは健在です。

<世界の吹奏楽>

アルフレッド・リード 作曲 アルメニアン・ダンス パートI

曲の成立、内容、人気度、演奏状況などを考えると、「世界の吹奏楽」という枠にこれほど

ふさわしい曲はないでしょう。「吹奏楽の神様」と呼ばれることもあるアメリカの作曲家リード(1921-2005)は、10歳からコルネットを始め、第二次世界大戦中は陸軍航空隊軍楽隊に所属、終戦後にジュリアード音楽院などで作曲を学び、在学中から数多くの放送音楽の作編曲を手掛けています。両親はオーストリア人でニューヨークに移住しているため、リードの音楽にもドイツ・ロマン派的な和声感・様式が見受けられるでしょう。また、ジュリアード音楽院での作曲の師ヴィットリオ・ジャンニーニ(1903-1966)がイタリア系の血筋で作曲にも主として旋律にイタリア的なものを求める傾向があったため、リード作品にもどこかそのような香りが感じられます。生涯で200曲を超える吹奏楽曲を発表していますが、その初の作品は『ロシアのクリスマス音楽』(1944)でした。1981年にTKWOの招きで初来日して以来、プロ・アマを問わず日本とのバンドとの親交も厚く、たくさんの曲を提供、共演しています。

リードの代表作であり、吹奏楽を象徴する曲と言っても過言ではない『アルメニアン・ダンス パートI』は、1972年にイリノイ大学シンフォニック・バンドのために作られました。委嘱したこのバンドの指導者であるハリー・ベギアン(1921-2010)はアルメニア移民の子で、アルメニアの作曲家で民謡蒐集家であるコミタス・ヴァダペット(1869-1935)の研究者でもありました。ベギアンはリードにコミタスが編纂した民謡集を渡し、そこに含まれている旋律を使った吹奏楽曲を依頼しています。『パートI』と後に作られた『パートII』(1975)はもちろん、『エルサレム賛歌』(1974)もその一つです。

本来は『パートI』と、3つの楽章から成る『パートII』とを合わせた全4楽章で1つの作品なのですが、『パートI』(第1楽章相当)だけが単独で大規模で構成も変化に富むことから、よく独立して演奏されます(出版社が異なる、という事情もあるでしょう)。『パートI』は切れ目なく続けて演奏される5つの部分で構成されていて、各部に付けられた標題と同じ曲名のアルメニア音楽が素材として使われています。その内訳は、「あんずの木」「やまうずらの歌」、「オーイ、ぼくのナザン」、「アラガツ山」、「ゆけゆけ」となっています。このうち、「やまうずらの歌」は民謡ではなく、コミタス自作の歌曲です。また、明確に「舞曲」と言える曲が使われていないのに「ダンス」という題となっているのは興味深いところです。

実はこの曲、日本の著作権管理上ではリードの「作曲」ではなく「編曲」として扱われています。ですが、リードのスコアは素材となった原曲とは創意工夫により大きく異なります。例えば「オーイ、ぼくのナザン」は、あのような変拍子ではないのです。この文章を書くのにも参考とさせて頂いているリード研究の第一人者・村上泰裕さんのwebサイトなどでも原曲を参照できますので、比較してみても面白いでしょう。「作曲とは何だろう」と考えさせられる一件です。

<映画・ミュージカル>

星出 尚志 編曲

ディズニー・ファンティリジョン!

吹奏楽ポップスの父と呼ばれた岩井直溥(1923-2014)が1972年に始めた「ニュー・サウンズ・イン・ブラス」(NSB)シリーズ。TKWOも録音で長らく参加してきたこのシリーズは、ジャズから演歌、ゲーム音楽など幅広いジャンルを扱っているわけですが、ディズニー音楽も含んでいる数少ないブランドです。「夢の国」の姿を保つために著作権の管理が厳しい(編曲の許可が下りない)ことでも知られるディズニーの楽曲を多数扱っているのは、いかにNSBのアレンジの質が高いか、ということも示しています。そのNSB第24集のなかの一曲として1996年に発表されたのが、今回選ばれた『ディズニー・ファンティリジョン!』です。

東京ディズニーランドの名物である夜のパレードは、1985年に「エレクトリカルパレード」として開始され、その後継として1995年7月から2001年5月まで行われたのが「ファンティリジョン!」。アメリカ・フロリダ州のディズニーワールドで行われているウォータースクリーンも使用する大規模なパレード「ファンタズミック!」をモデルに「イリュージョン」として音と光のスペクタクルを追加した、東京ディズニーランド独自のパレードです。40体のキャラクター、118人のダンサーが出演する全長約500メートルのパレードは30分におよび、「ミッキーのガーデン」、「ディズニー・ヴィランズ」、「ハッピー・エンディング」という三部構成となっています。いまやNSBの中心的存在となっている星出尚志(1962-)のアレンジは、パレードの音楽構成をそのまま再現したのではなく、パレードのメイン・テーマを軸に様々なディズニー映画の音楽をメドレー状に構成することで、色々なキャラクターが行進していくような「音楽のパレード」となっています。登場する曲の順番は「ファンティリジョン・ファンファーレ」、「ファンティリジョンのテーマ」、「歌とほほえみと(白雪姫)」、「ハイ・ホー(白雪姫)」、「いつか王子様が(白雪姫)」、「ワンソング(白雪姫)」、「ホール・ニュー・ワールド(アラジン)」、「ひと足お先に(アラジン)」、「いつか王子様が(2回目)」、「これが恋かしら(シンデレラ)」、「いつか夢で(眠れる森の美女)」、「パート・オブ・ユア・ワールド(リトル・マーメイド)」、「美女と野獣」、「ホール・ニュー・ワールド(2回目)」、「ファンティリジョンのテーマ〜グランド・フィナーレ」です。

「ファンティリジョン!」は2001年に現在の「エレクトリカルパレード・ドリームライツ」に変更されたことで終了しましたが、2003年から2012年までパリのディズニーランドに引き継がれました。このアレンジの楽譜も、現在はオランダの出版社de haskeから出ています。

<ポップス>

和泉 宏隆 作曲(真島 俊夫 編曲)

宝島

同じくNSBの、こちらは1987年の第15集のなかの一曲としてアレンジされたもの。日本の吹奏楽を語る上で欠かすことのできない存在である巨匠・真島俊夫(1949-2016)によるこのアレンジは、吹奏楽関係者には最初の1小節が耳に入っただけで意思疎通が図れる共通遺伝子となっています。そのあまりの浸透ぶりで、この曲が最初から吹奏楽のために作られたものかと思いついて入っている人も、というのもあり得る話かもしれません。元々は日本のフュージョン・バンド「T-SQUARE」が1986年(当時は「THE SQUARE」名義)に発表したアルバム「S・P・O・R・T・S」のなかの1曲で、正式なタイトルは『TAKARAJIMA』とローマ字表記です。作曲したキーボーディスト和泉宏隆(1958-2021)によると「ジュール・ヴェルヌの十五少年漂流記をイメージして作った曲」なのだそうで、そう思って聴くとまた違った印象を持つかもしれません。

真島アレンジは原曲のウインド・シンセをフィーチャーしたやや落ち着いた曲調を、吹奏楽の色彩にあふれるサンバへと変貌させた大胆なもの。吹奏楽によるシンフォニック・ポップスの可能性を引き出したアレンジと言えるでしょう。2014年にホルンのパート譜に誤りがあることがテレビ番組「題名のない音楽会」で明らかになったのも衝撃でした(練習番号Dの1小節前)。

<マーチ>

ヤン・ヴァンデルロースト 作曲

アルセナール

1990年頃、まだ日本の吹奏楽のレパートリーがアメリカの曲が中心だった時代にヨーロッパの風を送り込んできたのが、ベルギーの作曲家ヴァンデルロースト(1956-)でした。紹介された当時、注目の若手、吹奏楽の貴公子などと呼ばれていた彼も、今年の3月1日で70歳。すっかり大御所となった感があります。世界中で作品が演奏されるヴァンデルローストの作風は幅広く、民俗音楽調のものから現代音楽風、スタンダードな吹奏楽オリジナル作品と様々なものがありますが、行進曲を一定数以上発表し、しかもコンスタントに演奏されている作曲家は珍しいかもしれません。今回選ばれた『アルセナール』も、そんな行進曲の一つです。

格調高いイギリス風式典行進曲となっているこの曲は、1995年にベルギー鉄道工場吹奏楽団の創立50周年を記念して作られました。この工場はベルギーで初めて首都ブリュッセル

との間に鉄道が通った街として知られるメヘレンにあり、作曲年は鉄道が開通した1835年から160年にもあっています。原題『arsenal』の英語は兵器工場を意味する単語で「アーセナル」と発音するのが一般的です(ちなみに同名の有名なイングランドのサッカー・チームは軍需工場のクラブが母体なのでその名が付いています)。この英語に相当するフラマン語(ベルギーで話されているオランダ語)である「arsenaal(発音はアルセナールに近い)」が委嘱団体の名前「Spoorwegarsenaal(鉄道工場)」に含まれていることから、曲のタイトルとされています。鉄道開通はベルギーが独立して間もない、ヨーロッパにおける産業革命開始直後のこと。鉄道はまだ軍需品だったと言えるでしょう。

日本では新たな出発を祝う入学式や卒業式でも演奏されることがある人気曲が鉄道由来である、というのも面白いですね。

<日本の吹奏楽>

酒井 格 作曲

たなばた

数々のチャーミングな作品ですっかり人気作曲家となった感がある酒井格(1970-)のデビュー作にして最も有名な曲が、この『たなばた』でしょう。作曲されたのは1988年の3月、作曲者が高校三年生のとき、というのが驚きです。所属していた吹奏楽部(担当楽器はフルート)の後輩たちのために作ったものの演奏されず、初演は大阪音楽大学作曲科に入学してから短大の吹奏楽団によって行われました。その際に改訂された楽譜が、現在は出版されています(大井&TKWOによって初期稿での演奏もCDになっています)。初演後、シカゴで行われたミッドウェスト・クリニックに赴きいくつかの出版社に楽譜を見せたところ、最も早く返事をくれたオランダの出版社de haskeから出版されることになったそうです。正式なタイトルは『The Seventh Night of July』と英語なのですが、海外から出版するにあたってこの日が何なのかの説明の便をとるために副題として「TANABATA」と添えたのが、現在では正題のように扱われています。

作曲者の住む大阪府枚方市は七夕伝説の地として知られているのも曲の成立背景としてあるのですが、作曲者の個人的なエピソードも曲中に盛り込まれているとか。高校のときの吹奏楽部にいたアルト・サクソフォーン奏者が織姫に、ユーフォニアム奏者が彦星に重ねられているのは有名な話です。とすると、随所で活躍するフルートは作曲者本人…? 影響を受けていた様々な音楽の要素が間接的に、あるいは直接的に盛り込まれていて、本日のオープニング曲『アルヴァマー序曲』の旋律も一瞬ながら登場します。ほか、童謡『たなばた』、さらには斉藤由貴や渡辺美里の曲のフレーズも隠されているそうです。

<メイン>

フィリップ・スパーク 作曲

宇宙の音楽

栄えあるメインに選ばれたのは、それにふさわしい大曲です。イギリス生まれのスパーク(1951-)は、10代の頃から音楽をはじめたのですが、最初に学んでいたのはヴァイオリンでした。しかし、左利きだったため思うようにいかずトランペットに転向して、英国王立音楽大学では作曲とトランペットを学んでいます。学生時代からブラスバンド(金管バンド)でホルネットを吹くなどした経験が作曲活動にも大きなアドバンテージとなっているのは間違いなく、これまでにサドラー国際吹奏楽作曲賞(1997)、NBAウィリアム・レヴェリ記念作曲賞(2005および2016)など数々の賞を受賞するなど高い評価を得ているのはその証です。日本、そしてTKWOとの関係も深く、TKWOの委嘱で『セレブレイション』(1991)が作られたほか、東日本大震災の復興支援のために作られて話題となった『陽はまた昇る』(2011)の続編として作られた『希望の彼方へーLooking Up, Moving Onー』(2012)もまたTKWOの委嘱作品です。

今回選ばれた『宇宙の音楽』は、2004年にヨークシャー・ビルディング・ソサエティ・バンド(現:ハモンズ・ソルテア・バンド)の委嘱でまずブラスバンドのために作られ、その翌年にスパーク自身によって吹奏楽版が作られ、同年のNBAウィリアム・レヴェリ作曲賞を受賞しました。

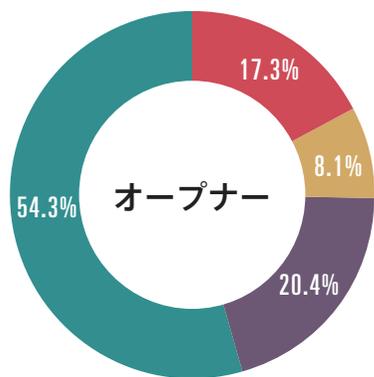
原題の『Music of the Spheres』は、一般には「天球の音楽」と訳されることが多い語です。この「天球の音楽」という考えを最初に思いついたのは、古代ギリシャの哲学者ピタゴラスだと言われています。これは、当時は太陽系には6つの天球(水星・金星・地球・月・火星・木星)があり、それらは動く際にそれぞれ固有の音を出していて、宇宙全体が音楽のような調和を奏でている、というものです。その音楽はとても大きいけれど、いつも鳴り続けているので人間には聞こえない、ともされていました。宇宙は数学的な法則でできていて、音楽もまた数学的であるため、宇宙の法則も音楽で表せる、という古来から西洋に伝わる思想が感じられます。

スパークは、「6つの音」による「天球の音楽」の響きをイメージしつつ、宇宙の創生と拡がりや壮大なスケールで描き出しています。切れ目なく続けて演奏される7つのセクション「t=0」、「ビッグバン」、「孤独な惑星」、「小惑星と流星群」、「宇宙の音楽」、「ハルモニア」、「未知」で構成されています。宇宙誕生の瞬間は時間や元素などあらゆるものが無であることを示す「t=0」といった特殊相対性理論に使うような専門用語も出てきていますが、単純に「宇宙誕生から天球が生まれて音を発して調和、未知なる世界へ進む」という流れと捉えていいでしょう。

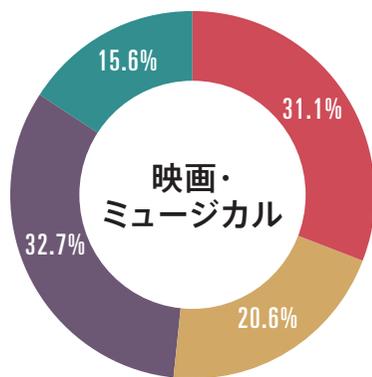
吹奏楽総選挙 2025 決選投票 集計発表

本日演奏する7曲は、112曲(16曲×7カテゴリ)からX(旧Twitter)のアンケート機能を利用して、のべ約6万票の投票で決定しました。

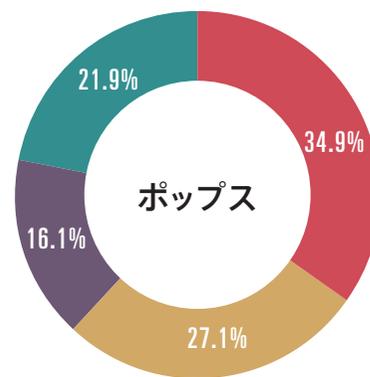
ご投票いただいた皆さま、ありがとうございました!



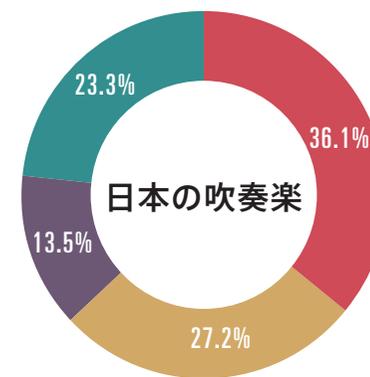
- セドナ/S.ライニキー
- センチュリア/J.スウェアリンゲン
- 音楽祭のプレリュード/A.リード
- アルヴァマー序曲/J.パーズ



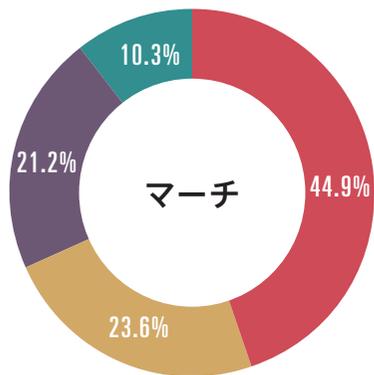
- サウンド・オブ・ミュージック・メドレー/岩井直博編
- パイレーツ・オブ・カリビアン/T.リケッツ編
- ディズニー・ファンティレージュン!/星出尚志編
- ハリー・ポッターと賢者の石/R.W.スミス編



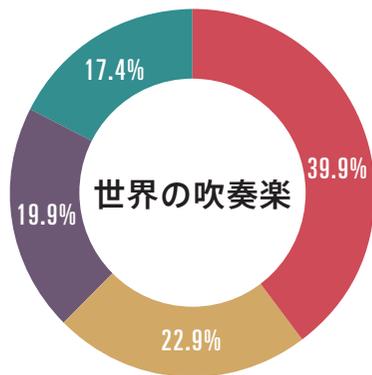
- 宝島/和泉宏隆/真島俊夫編
- オーメンズ・オブ・ラブ/和泉宏隆/真島俊夫編
- ディープ・パープル・メドレー/佐橋俊彦編
- ディスコ・キッド/東海林修



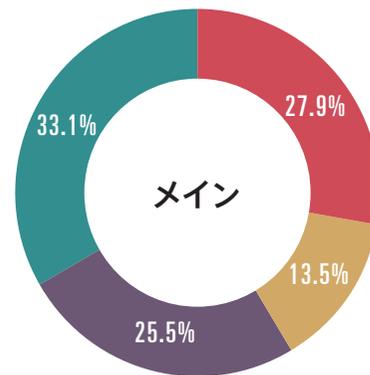
- たなばた/酒井格
- マードックからの最後の手紙/樽屋雅徳
- 復興/保科洋
- Mont Fuji(富士山)/真島俊夫



- アルセナール/J.ヴァンデルロースト
- 星条旗よ永遠なれ/J.P.スーザ
- 五月の風/真島俊夫
- 祝典行進曲/團伊玖磨



- アルメニアン・ダンス パート/A.リード
- エル・カミーノ・レアル/A.リード
- 春の獵犬/A.リード
- 吹奏楽のための第1組曲変ホ長調/G.ホルスト



- オセロ/A.リード
- イーストコーストの風景/N.ハス
- ドラゴンの年(2017年版)/P.スパーク
- 宇宙の音楽/P.スパーク

すべての投票結果はこちら

予選投票を含めたすべての投票結果は、TKWO公式サイトにて公開中!
本日のアンコール曲の投票結果も、後日更新いたします。
たくさんのご投票、ありがとうございました!



PROFILE | 楽団プロフィール



©Atsushi Yokota

東京佼成ウインドオーケストラ

Tokyo Kosei Wind Orchestra

1960年5月「佼成吹奏楽団」として発足し、その後1973年に「東京佼成ウインドオーケストラ」へ改称。

2022年4月より「一般社団法人東京佼成ウインドオーケストラ」として活動する

日本が世界に誇るプロ吹奏楽団。

2024年4月から大井剛史が第6代常任指揮者、中橋愛生が楽芸員に就任。

桂冠指揮者にフレデリック・フェネル、特別客演指揮者にトーマス・ザンデルリンク、

首席客演指揮者に飯森範親を擁している。

吹奏楽オリジナル作品、クラシック編曲作品やポップス、ポピュラーまで幅広いレパートリーの演奏を通し

高い音楽芸術性を創出し、多くの人を楽しめる管楽合奏を展開、各地のコンサートで好評を博している。

また多くのレコーディング、メディアを通し、吹奏楽文化の向上・普及・発展に尽力している。

MEMBERS | 演奏者名簿

桂冠指揮者 ……フレデリック・フェネル

常任指揮者 ……大井剛史

特別客演指揮者 …トーマス・ザンデルリンク

楽芸員 ……中橋愛生

首席客演指揮者 …飯森範親

指揮 ……大井剛史

演奏 ……東京佼成ウインドオーケストラ

Piccolos ……丸田悠太(Flute)、岡本有紀(Flute)

Flutes ……前田綾子、白石法久

Oboes ……宮村和宏*, 初見那少

English Horn ……森松炎山

Bassoons ……坂井由佳、西口真央

Contra Bassoon ……君塚広明

Clarinet in E b ……松生知子

Clarinet in B b ……大浦綾子、林裕子*, 野田祐太郎、

船橋菜里、浦畑尚吾、河西拓也、

後藤榛花、徳武敦、福井萌

Alto Clarinet ……石田勝

Bass Clarinet ……本田有里恵

Contra Bass Clarinet 原浩介

Alto Saxophones ……林田祐和*(Soprano Saxophone)、

五十嵐健太

Tenor Saxophone ……松井宏幸

Baritone Saxophone 田中奏一朗

Trumpets ……奥山泰三、ガルシア安藤真美子、

本間千也*, 河原史弥、間間健太、

中嶋尚也

Horns ……上原宏、堀風翔*, 小助川大河、小山千鶴

Tenor Trombones ……今村岳志*, 安久津理子、鶴田陸

Bass Trombone ……丸田和輝

Euphoniums ……岩黒綾乃、鎌田裕子

Tubas ……池田侑太、林裕人

Contrabass ……中村文音(Electric Bass)

Timpani ……坂本雄希

Percussion ……和田光世*, 秋生智之、菊本歩、小林公哉、

関聡、東佳樹、村瀬芽生

Piano ……神原颯大

※演奏委員

コンサートマスター

林田祐和

副コンサートマスター

宮村和宏

インスペクター

栃尾克樹

丸田悠太

今村岳志

企画委員

原浩介

役員

理事長 ……勝川本久

常務理事 ……八反田弘

専務理事 ……堀風翔

監事 ……清水宏一

事務局

事務局長 ……勝川本久

事務局次長 ……堀風翔

事務局長補佐 ……八反田弘

制作

篠原華

大橋証太(ステージマネージャー)

羽田紀子(ライブリアン)

広報

尾崎真也

荻沼美帆(チケットサービス)

賛助会・サポーターズクラブ

荻沼美帆

尾崎真也

佐原由起

営業

森ゆかり

総務

佐原由起

竹内正道

山内真由子(パーソナルマネージャー)

竹内正道

第173回 定期演奏会
2026年4月29日[水・祝]



指揮 ユベール・スダーン

- 歌劇「サムソンとデリラ」より「バツカナル」/C.サン＝サーンス/大橋晃一 編
- サクソフォン四重奏と吹奏楽のためのコンチェルト・グロッソ
[1992年委嘱作品]/J.アンドリーセン
- サクソフォン四重奏 林田祐和、五十嵐健太、松井宏幸、栃尾克樹
- バレエ音楽《ダフニスとクロエ》(全曲版)/M.ラヴェル/大橋晃一 編

第174回 定期演奏会
2026年7月5日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.4

- 交響曲第3番/D.マスランカ
- 吹奏楽のための風景詩「陽が昇るとき」/高昌帥



第175回 定期演奏会
2026年9月21日[月・祝]



指揮 下野竜也

- 呪文と踊り/J.B.チャンス
- 交響曲第2番/J.B.チャンス
- 巫女の舞/保科洋 ユーフォニアム独奏 岩黒綾乃
- 交響曲第2番/保科洋



第176回 定期演奏会
2026年11月8日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

マスランカ・チクルス Vol.5

- クワイエット・コール[1991年委嘱作品]
/真島俊夫 トロンボーン独奏 今村岳志
- ティンパニ協奏曲/酒井格
ティンパニ独奏 坂本雄希
- 交響曲第8番/D.マスランカ





第177回 定期演奏会
2027年1月24日[日]



指揮 飯森範親 (首席客演指揮者)

- 波の見える風景(改訂新版)/真島俊夫
- 脆性ノスタルジア 吹奏楽のための/冷水乃栄流
- 秘儀VI(ヘキサグラム)全曲(吹奏楽版世界初演)/西村朗/中橋愛生 編
- バリのアメリカ人/G.ガーシュウィン/保科洋 編
- 交響曲第2番(日本初演)/K.デイ

第178回 定期演奏会
2027年2月28日[日]



指揮 大井剛史 (常任指揮者)

- 行進曲「希望に燃えて」/水島数雄 ● 日本民謡組曲「わらべ唄」/兼田敏
- 冬山に逝ける若者への祈り/岩河三郎
- TKWO委嘱作品[世界初演]/波立裕矢 ● サンシャイン序曲/E.E.バークレイ
- サントファエ・サガ/M.ゲールド ● ディシジュアス/V.クオン
- 委嘱作品[世界初演]/D.ピーデンベンダー*

*2025年度バロウ賞受賞者による新作。委嘱コンサートに参加する各団体が、それぞれ世界初演を行います。

会場/東京芸術劇場 コンサートホール 開演/14:00(開場13:00)

料金(一回券)/ 第173回 S席 ¥7,500 A席 ¥6,000 B席 ¥4,500 C席 ¥3,500 U25 ¥2,500

第174回~178回 S席 ¥6,500 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000 C席 ¥3,000 U25 ¥2,500

※当日券は500円増しとなります。(U25を除く)

TKWO 吹奏楽カフェ



定期演奏会に先立ち、大井剛史(常任指揮者)&中橋愛生(楽芸員)が、公演の演奏曲や作曲者にまつわるエピソードなど、通常の楽曲解説とはひと味違う視点から語ります。ここでしか聞くことのできない会場限定の裏話などもございます。今回は、4月29日開催の第173回定期演奏会についてご紹介いたします。

2026年3月24日[火] 19:15 開店
管楽器専門店ダク「スペースDo」 最寄駅「新大久保」駅

第10回

料金 2,500円(税込) 詳細はオフィシャルサイトをご確認ください



共催: 管楽器専門店ダク



東京佼成ウインドオーケストラ 公演情報

好評
発売中

課題曲コンサート2026

2026年3月23日[月] 開演19:00

東京芸術劇場コンサートホール

指揮 大井剛史(常任指揮者)



Tokyo Kosei Wind Orchestra

賛助会員

会員
募集中

今後も音楽文化の発展に貢献する活動を行い豊かな社会を実現するため、趣旨にご賛同いただける多くの皆様からの継続的なご支援が必要です。賛助会へのご入会をぜひご検討ください。

年会費	賛助会員	維持会員	特別会員
個人	3,000円/1口	10,000円/1口	100,000円/1口
法人	100,000円/1口	300,000円/1口	1,000,000円/1口



詳細はこちら

※会員期間:会費納入翌月より1年間

お問い合わせ:東京佼成ウインドオーケストラ事務局 賛助会担当 FAX:03-5341-1255 MAIL:patronage@tkwo.jp

SUPPORTERS CLUB

東京佼成ウインドオーケストラ サポーターズクラブ

会員
募集中

東京佼成ウインドオーケストラ(TKWO)を応援したい仲間が集まるファンクラブです。

TKWOをもっと身近で特別な存在に♪

サポーターズクラブへ入会して、一緒にTKWOを盛り上げていきましょう!



詳細はこちら



F-SUN ツーリストジャパン

<https://f-sun.jp/domes/>

国内旅行も
海外旅行も
お任せください



〒141-0022 東京都品川区東五反田 4-10-9
シャトレー五反田 2B

TEL:03-5422-7530 FAX:03-5422-7532
info@fsun.co.jp 営業時間/ 9:30 - 17:30

土日祝祭日はお休みをいただきます。



KOSEIレーベルを 音楽配信サービスで

iTunes、Apple Music、Spotify、Amazon Music、LINE MUSICをはじめとする各音楽配信サービスにて1000曲を超える楽曲を好評配信中!

1979年の初リリース以降、ポジティブに、かつ体系的に送り出されたコンテンツは、質・量ともに他の追従を許さない。世界に類例を見ない吹奏楽曲の数々を配信で!

主な配信サービス



iTunes



Spotify



Amazon Music



LINE MUSIC

株式会社 佼成出版社

〒166-8535 東京都杉並区和田2丁目7-1 普門メディアセンター
03-5385-2311(代表)

電子書籍ECサイト



2025 ヤマハ管楽器新人演奏会出演者による アンサンブルコンサート



Duet フルート二重奏

鈴木 びあ乃・滝山 奈央
F.クラーウ: 三つの大ニ重奏曲第3番作品39ニ長調 ほか

Quintet トランペット五重奏

福井 穂奈美・澤田 和華・朝日 愛理・幕田 虎之介・佐藤 真梨菜
E.モラレス: シティスケープス ほか

Quintet トロンボーン五重奏

鵜飼 輝・根岸 佑奈・小坂 雄生・本多 謙司・田中 ほか
B.リン: ページェント ほか

2026. **3/14** (土) 開演 14:00 (開場 13:30) 料金 2,000円(税込)
ヤマハ銀座コンサートサロン (ヤマハ銀座店 6F) 定員 80名 全席自由 要予約 ※未就学児のご入場はご遠慮願います。



■お問い合わせ・お申し込み

株式会社ヤマハミュージックジャパン
アトリエ東京 Tel. 03-3574-0619

※平日10:30~18:30

写真: ヤマハ銀座コンサートサロン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14 ヤマハ銀座ビル6F



株式会社ヤマハミュージックジャパン

山響 さくらんぼ

コンサート 2026 東京公演



指揮★ 阪 哲朗
指揮★ 坂ボラーク
指揮★ 坂ボラーク
指揮★ 坂ボラーク

ドヴォルザーク: 序曲「わが故郷」作品62★
モーツァルト: 協奏交響曲 変ホ長調 K.297b (バボラーク版)
ブント: ホルン協奏曲 第5番 へ長調★
ブラームス: 交響曲 第1番 ハ短調 作品68★

Friendship
Transfiguration 変調

6/17 水 19:00開演 (18:00開場)
サントリーホール
18:45より、プレ・コンサート・トークを予定しております。

入場料【チケット一般発売: 2026.1/26日】(鑑賞会員先行: 2026.1/21日)
全席指定(税込) S席 ¥6,500 / A席 ¥5,500 / B席 ¥3,500

チケットのお申し込み
● ジャパン・アーツびあ TEL.0570-00-1212 www.japanarts.co.jp
● サントリーホールチケットセンター TEL.0570-55-0017 t.pia.jp (Pコード: 314-404)
● チケットびあ eplus.jp
● e+ (イープラス) l-tike.com (Lコード: 31050)
● ローソンチケット TEL.023-616-6607 (土・日・祝日を除く10:00~17:00)
● 山響チケットサービス p-ticket.jp/yamakyō

本場「山形県産さくらんぼ」を抽選でプレゼント!
"YAMAGATA"の魅力をお届けします!

天才バボラークによる
ナチュラル・ホルン独奏 &
山響のブラームス
「YAMAGATA」を発信!

